

あやめ池学園南

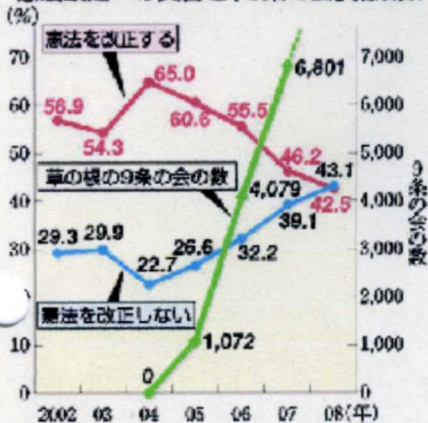
あやめ池学園南九条の会

9 条の会

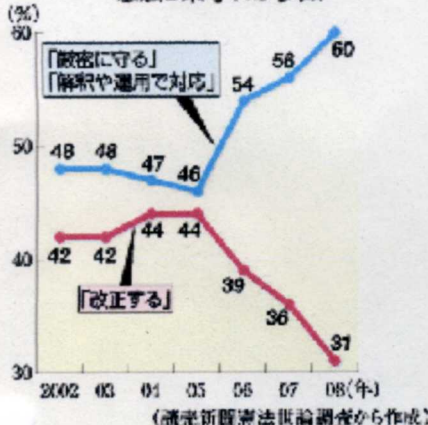
発行者 吉川好胤 あやめ池南1-3-32

結成から2年 憲法九条を守るために 粘り強いとりくみに全力を!

憲法改定への賛否と「9条の会」結成数



憲法9条守れが多数



先月25日に、あやめ池学園南九条の会が結成をされて、2年を迎えました。

この間、会では代表世話人会議を31回開催し、この地域での「憲法九条を守ろう」との継続的なたりくみに全力を挙げてきました。

13号のニュース発行、地域への全戸配布も8回のべ40000枚をこえる宣伝に力をいれるとともに、映画「日本の青空」の学園前ホールでの上映協力やこの地域での「九条の会」ポスター掲示の普及にも全力を挙げてきました。

また、駅頭での署名活動

動や3月には九条世界会議に向け広島から東京に向けて取り組まれた九条ピースウォークに積極的に取り組みました。

こうしたことを通じて、呼びかけ人、賛同人113名と着実に増えてきています。

これらの活動を継続できたのも、ひとえに呼びかけ人賛同人の皆様の「憲法九条を守ろう」との熱い思いと惜しみない労力の提供と、カンパ支援などのご協力によるものです。あらためて感謝申し上げます。

全国において「九条の会」は、地域やさまざまな分野の会が、小学校区

単位や、より生活に密着する場に広がりこの4月に全国で7,039に達しました。

同時に、昨年は、安倍内閣が退陣を余儀なくされ、改憲派の動きが大きく後退することになりました。

これは、「読売新聞」の世論調査での「改憲反対」が15年ぶりに上回るということからも明瞭です。

同紙によると「今の憲法を改正しない方がよい」と思う人は43.1%で昨年調査より4.0ポイント増、「改正する方がよい」は42.5%で同3.7ポイント減でした。



九条については、改定反対が一貫して多数でしたが、憲法全体については九三年から改定賛成が反対を上回り、2004年には賛成65.0%と最高を記録していました。

しかし、同年に「九条の会」が結成され、翌年からは四年連続で改憲反対が増加、昨年は賛成が過半数割れしてしまいました。

九条については、「これまで通り、解釈や運用で対応する」と「九条を厳格に守り、解釈や運用では対応しない」のいずれも増加し、あわせて60.1%に。「九条を改正する」は30.7%で5ポ

一方、改憲派の動きも依然目が離せません。6月12日には、改憲派議員でつくる新憲法制定議員連盟が、改憲原案の審査権限を持つ憲法審査会の規定議決、早期始動を求める決議を改めて採択しました。

これには、当日国会での審議拒否をして対決姿勢打ち出していたはずの民主党から幹事長、前代表が出席するなどし、国民から響きをかかっています。今後各マスコミに働きかけを強めるとしており、注意が必要です。

あやめ池学園南九条の会は、より大きくより広くを目標に、粘り強く運動に取り組みます。